

県央・林業部トピックス（9月号）

スイングヤーダを使用したフォーリングブロック式集材研修を実施しました

令和7年9月22日、24日に邑南町大林の伐採現場で「スイングヤーダを使用したフォーリングブロック式集材研修」が行われました。県下に数多く導入されているスイングヤーダを有効に活用するため、今年度からスタートした原木生産新技術等導入促進事業において、フォーリングブロック式集材が対象となったことから、邑智郡森林組合が主催（島根県西部農林水産振興センター県央事務所、島根県林業公社造林推進協議会共催）となり、中国林機(有)の住田氏を講師に迎え開催されました。研修には、県央事務所管内の森林組合、林業事業体等から14名の参加がありました。初日午前中に行われた座学ではフォーリングブロック式集材の仕組みや他の索張方法との違い、架設～集材の作業手順について説明がありました。午後からは現地に移動し、元柱・先柱（控索を含む）の設置と主索を張る作業を行いました。2日目の午前中に架設作業を終え、午後から集材作業を行い研修を終えました。

参加者からは「研修を受けたからといって直ぐに索張ができるわけではない」との意見がありました。一方講師からは「現地に応じた索張方法を選択できるようになれるとよい」との助言いただき、各種の索張り方法も学びつつ経験を積むことが大切だと感じました。



座学の様子



主索（SKL）の架設



控え索（GYL）の設置



集材作業